

■リリース概要

**エコな IT 活用事例：環境啓発を旅を通じて行う活動家らを NPO が
GPS とネット地図（GoogleMap）を使ったシステムを無償提供で支援**

特定非営利活動法人 情報活用センター（所在地：東京都新宿区西新宿 理事長 石川将行）は携帯電話 GPS を使って、Google マップ上に旅の軌跡を残すことができる GPS サービス「いまココ！GPS☆マップ」を無償でサービス提供を開始した。日本の NPO 法人が GPS とネット地図を使って旅人（主に環境啓発活動家）を支援するのは初めて。

このいまココ！GPS☆マップはインターネット上のサーバーで稼働しており（ASP タイプ）、インターネット環境があればどこからでも利用が出来るのが特徴。GPS 付き携帯電話があれば簡単に旅の記録ができるが、使えない海外などではパソコンから住所を入力したり地図に直接位置を記録することも可能。携帯電話の海外での利用範囲が増えていけばこのサービスの利用範囲も広がることになる。また、総務省より第 3 世代携帯電話への GPS 機能義務化の流れで、今後ますますサービス利用者が増えると想定される。

位置の記録時にコメントとともに写真も残せ、まさに旅向けに進化したブログといえる。

また、情報活用センターではそれぞれの活動が横の繋がりを持てるきっかけになれば、と共有地図サービス（みんなでいまココ！）もテスト提供している。7 月に開催された洞爺湖サミットに向けて環境ボランティアグループなどがママチャリやロードバイク、ヒッチハイクで北海道洞爺湖を目指し旅をしながら啓発活動をする、という動きがあったが、これで縁が広がった。

.....

開発のきっかけは学生らによるエコ啓発活動（洞爺湖ママチャリサバイバル）の応援から始まった。彼らは旅を通じてテレビや新聞、ラジオ、雑誌などのメディアに露出し地球温暖化ストップのメッセージを発信した。そんな彼らの活動を支援すべく情報活用センターはいまココ！GPS☆マップを開発して無償で提供する形で

ボランティアを行った。また、同じ時期に社会人による活動（ツーリング洞爺湖 2008）へも支援を行い、これを境に希望者へのサービス提供を開始した。

この「洞爺湖ママチャリサバイバル」と「ツーリング洞爺湖 2008」は活動内容こそ違うが、「ストップ！地球温暖化」という想いは共通。そして旅程は違うが、ゴールは共通で、ともに7月洞爺湖サミット開催にあわせて洞爺湖に向かった。彼らはこのGPSマップで繋がり、支持者らも双方の活動を知ることによって啓発の幅が広がったという。（参考サイト：<http://imakoko.didit.jp/minna.php>）

「今回、地図でお互いに居場所を確認しあうことで仲間意識を深め、おおきなうねりになるのではないかな。こうして地球環境を考える仲間の輪が広がってほしい」と、ママチャリチーム代表の矢部寛明さん、ツーリング洞爺湖 2008 代表の横山茂彦さんは考えた。呼びかけにより、ヒッチハイクをして全国を回り環境啓蒙活動をしながら洞爺湖をめざした「にこたび」の井上さゆりさんもこの「いまココ！GPS」に参加した。

洞爺湖ママチャリサバイバルについて

洞爺湖サミットを前に環境問題をアピールしようと、北海道まで9都道府県、1300キロをママチャリ（軽快車・婦人向け自転車）で走破する「洞爺湖ママチャリサバイバル」。このママチャリチームは、2008/6/8に国会前を出発し、地球温暖化防止を考える新聞を配布したり、立ち寄った飲食店などで「マイ箸」利用を勧めるパンフレットを貼ってもらったりした。

ツーリング洞爺湖 2008 について

洞爺湖サミットに向け、市民有志が「ツーリング洞爺湖 2008」という東京から北海道までの自転車によるツーリングを行った。このツーリング洞爺湖 2008 では、2008/6/19に国会前を出発し原発や関連施設のある茨城県東海村や福島県、青森県六ヶ所村などを通り、政府や日本原子力研究開発機構、原子力発電所、六ヶ所村再処理工場などに申し入れを行った。

利用者の声

- ・既存のインターネット地図サービスだとパソコンとインターネット環境が必要で、それに比べて携帯電話が使える、しかもGPS機能を使うと一瞬で記録できるので自転車乗りながらも楽にリアルタイム更新ができました。
- ・GPSで高機能なものはだいたい有料ですが、無料なのはとてもありがたいです。
- ・ブログだと見飽きているし、始まりと終わりが明確でないのにたいし、いまココ！だと旅に特化しているので、出発とゴールが明確だしブログよりもやりやすい。
- ・他の旅人が近くにいたときに連絡をとって会うことができ、輪が広がりました。
- ・知らない人から今近くなのでと招待され、行くと沢山の人が集まって歓迎され感動しました。

■いまココ！GPS☆マップ サービス概要

運営：

特定非営利活動法人情報活用センター

内容：

旅をしている若者らが、自分の携帯をつかって簡単に地図サイト上にコメントとともに足跡を残せる。

これにより、閲覧者が旅の行程をインターネットを通じて共有できる。

また、複数の旅人も同じ地図上に軌跡を残すことで、横のつながりをつくり広く啓発することを目指している。

狙い：

→ 旅をする人が、簡単に旅の軌跡を残せる。

→ 旅の軌跡をひろく伝え、共有することができる。

今の状況：

2008年8月から、サービスを一般に無償提供しており、随時バージョンアップしている。

利用ユーザーは洞爺湖ママチャリツアー、ツーリング洞爺湖2008、にこたび、free pocket、一円マン、など。

今後も利用者を募り、無償提供していく。

マップアカウント数：16（2008年9月には50になる予定）

■NPO法人 情報活用センターとは

ITを活用して福祉、環境、教育に関わる施設や団体を支援するNPO法人です。

ノーマライゼーション社会（健常者、障害者が共生して思い遣りのあふれる社会）の実現をめざし、そのためのITサービスを提供したり、イベント、ボランティア活動などを行っています。

■理事長 石川将行より

開発のきっかけは、環境ボランティアの仲間が旅でエコ啓発していきたい、それであほらしさを出すためにママチャリで四国を一周する、そしてうどん屋にマイ箸を広める！という話が来てからでした。

あまりに大学生の彼らしい（アホらしい）発想に、迷わずに応援することを決めました。

彼らの活動の良さは、アホらしさを全面にだして、「環境問題の解決は頭の良い、エリートで、企業や奇特な人がやる活動ではなく、誰にでも身近で簡単なことからできるのが大事なんだ！さらに、楽しんでやる！という要素が必要。」というスタンスで訴えており、これには私も全く同感でした。

ブログを使って地方の活動から全国へと啓発の域を広げていきたいとのことで、ブログだけでなくもっと盛り上がりたくさんの人に見てもらおうようにと思い、ネット上の地図でリアルタイムにいまどこにいるのかが分かるシステムを開発しました。彼らはパソコンを持たないので、携帯から、しかも旅の途中なので面倒な操作をさせないためにGPS機能を使って一瞬で更新できるように作り込みました。（これがいまココ！GPS☆マップの原型です。）

2008年3月、四国を一周した彼らは思惑通り地方メディアに取り上げられ、雑誌やテレビ、ラジオにも出演し、ブログと地図サイトを通じて広く啓発することができました。閲覧者は旅を疑似体験で共有し、「エコに目覚めました」「私にできることからやってみます」という声もいただきました。

そして次に考えていたのが7月の洞爺湖サミットへ向けて東京から洞爺湖を同じくママチャリで旅をする計画でした。クチコミでこの地図システムが評判になり、他にも利用したいという声が出始め、大幅にバージョンアップすることになりました。私の想いとしては、「旅は自己成長する。一人の人間であれ社会の財産であり、これを支援するのは社会貢献事業の一つと言えるのではないだろうか。NPOとして、旅人をITを使って応援していきたい」と思い、いまココ！GPS☆マップとして誰でも無料で利用できるようにブラッシュアップしました。現在（2008年8月）ではモニターの形で16ほどの団体、個人が利用しており、今月中には50までふくれあがる予定です。

そして、旅人たちがリアルタイムにいまどこにいるかを同じ1つの地図上で共有するサービス（みんなでいまココ！）を開始します。これを通じて、ある活動家を応援している人がこのサイトを通じて他の活動、他のメッセージを知るきっかけになれば、と思います。

■添付資料

- ・本資料 8 ページ
- ・記事：東京 IT 新聞より 1 ページ
- ・記事：ツーリング洞爺湖 2008 より 3 ページ

■本件に関する連絡先

特定非営利活動法人 情報活用センター

理事長 石川 将行

Tel : 03-6904-0790 FAX : 03-6904-0667

e-mail : iuc@didit.jp URL : <http://iuc.didit.jp>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3 丁目 5-3-1311

以上

※本件に関する取材もお受けしております。どうぞよろしくお願いいたします。

■参考 URL 一覧

- ・ いまココ！GPS☆マップ <http://imakoko.didit.jp>
- ・ 開発の経緯 http://imakoko.didit.jp/imakoko_html/kaihatsu_story.html
- ・ 特定非営利活動法人情報活用センター <http://iuc.didit.jp>

■主な利用者（メディアへの露出の多い活動家ら）一覧

- ・ 洞爺湖ママチャリサバイバル（学生活動チーム） http://greenz.jp/mamachari_toyako/
 - いまココ！ http://imakoko.didit.jp/toyako_mamachari/
- ・ ツーリング洞爺湖 2008/08/13（社会人活動チーム） <http://tourtoya08.exblog.jp>
 - いまココ！ http://imakoko.didit.jp/touring_toyako/
- ・ にこたび（活動家：井上さゆり） http://d.hatena.ne.jp/sacchin_niko/
 - いまココ！ <http://imakoko.didit.jp/nikotabi/>

■メディア

- ・ 記事：東京 IT 新聞 http://itnp.net/category_betsu/20/1667/
- ・ 記事：ツーリング洞爺湖 2008 <http://tourtoya08.exblog.jp/8973619/>

- ・ ネット上の記事：洞爺湖ママチャリサバイバル

<http://sankei.jp.msn.com/region/kanto/saitama/080608/stm0806080341003-n1.htm>

http://mytown.asahi.com/hokkaido/news.php?k_id=01000590806280001

<http://www.actio.gr.jp/2008/06/18082447.html>

<http://www.ohmynews.co.jp/photo/20080611/26233>

http://www.jwn.ne.jp/lj/article/20080606_000652.html

<http://www.news.janjan.jp/special/0806/0806089049/1.php>

http://greenz.jp/2008/06/13/toyako_mamachari/

<http://mediajam.info/topic/511732>

<http://www.kanaloco.jp/kyodo/news/20080606010008631.html>

- ・ ネット上の記事：にこたび

<http://sankei.jp.msn.com/life/trend/080531/trd0805312048013-n1.htm>

http://mytown.asahi.com/hokkaido/news.php?k_id=01000590807080010

<http://www.sanin-chuo.co.jp/news/modules/news/article.php?storyid=503645006>

- ・ ネット上の記事：ツーリング洞爺湖 2008

<http://www.actio.gr.jp/2008/07/05050000.html>

http://news.biglobe.ne.jp/it/itnp_080723_0364783501.html



「いまココ! GPS☆」はケータイのGPS機能を利用したウェブ位置表示サービス

「実効性ある地球温暖化対策」「自転車活用の一層の推進」をメッセージに掲げた自転車ロングライド「ツリーング洞爺湖2008」が開催された。記者も参加者として六月一九日に国会前をスタートし、七月三日に洞爺湖、翌四日に札幌に至る千五百キロを走破、完走を果たした。本稿ではITの視点からこのツリーングについてお伝えする。

ツリーング洞爺湖2008 国会前から1500キロを自転車で

「いまココ! GPS☆」はケータイのGPS機能を利用したウェブ位置表示サービス。ツリーング洞爺湖2008では道中の様子をブログで逐一発信。そこで活躍したのがケータイからの更新機能と、NPO法人情報活用センターが提供する

北海道までは飛行機でわずか一時間半の距離だが、自転車では一日約百キロ、一六日間で移動するというスローな旅となった。その様子をリアルタイムで伝えられたのは、まさにITのおかげだ。そのITを支える電力が、将来逼迫するのでは

と懸念されている。米国ではサーバ稼働のために今後さらに原発十基分の電力が必要と予測されるが、福田首相は「低炭素社会・日本」をめざして、「いわゆる「福田ビジョン」の中で原子力発電を「ゼロ・エミッション電力」の二つに位置付けた。さらに洞爺湖サミットでも「有害な大気汚染を削減し、世界のエネ

ルを観測したが、原発の耐震設計基準は最大でも東京電力の一千ガルに過ぎず、素人目にも見劣りする。今回、コースに点在する各原子力施設に対して耐震基準の見直しなどを求める申し入れを行った。



漁民が海を守る重茂半島は、「日本にもまだこんな場所が残されていたのか」と思えるほど海が美しい



7月4日、札幌大通り公園・テレビ塔前に無事ゴール! ちなみに記者はマウンテンバイクでサイクリングトレーラーを牽引して参加した

ケータイで随時更新 「いまココ」で現在地表示

サービス「いまココ! GPS☆」はケータイのGPS機能を利用してGoogle Map上に移動軌跡と現在位置を表示するもので、太平洋岸に沿って北上する今回のコースがウェブ上で一目でわかる。東京から

ルギー安全保障に資する」と信じる」とし、利用拡大に向けた国際的な基盤整備の方向が確認された。しかしひとたび事故が起これば取り返しのつかない結果を招くのが原子力発電だ。先日起きた岩手・宮城内陸地震では最大地震加速度四〇二二ガ

は許せない」と、付近の漁民は憤りを隠さない。また青森県大間町では建設用地内に民家があるにもかかわらず原発着工を強行している現場に立ち会った。民家から原子炉炉心までわずか三百メートルというのは明らかに常軌

を脱している。国策ありき、推進ありきではなく、国と電力各社は国民が利益とリスクを公平に判断できるように情報開示を徹底し、合意形成を図る努力をするべきだ。(パブリック・ジャーナリスト 齊藤円華)

への懸念も大きい。途中訪れた、三陸海岸に位置する岩手県重茂(おもえ)半島は地元漁協が中心となつて漁場を汚染から守る事で知られる。家庭での合成洗剤の使用も禁止しているだけに、川や海は息を呑む美しさだ。しかし青森県六ヶ所村

カキ殻やコンブの切れ端を海に捨てると海上保安庁に摘発されるのに、放射能の垂れ流しがお咎めなしなのは許せない」と、付近の漁民は憤りを隠さない。また青森県大間町では建設用地内に民家があるにもかかわらず原発着工を強行している現場に立ち会った。民家から原子炉炉心までわずか三百メートルというのは明らかに常軌

洞爺湖サミット 環境技術立国へ



インタラクティブ型映像地球儀「触れる地球」は地球規模の環境問題を可視化し環境問題を紹介

する関税及び非関税障壁を撤廃するため努力が強化されるべき」とが議長総括に記載され、世界の主要先進国が基本路線として、環境問題の解決のため環境技術ビジネスを推進し、同時

ダイアセンター(以下IMC)の「環境ショーケース」において、日本の環境に対する取り組みと最先端環境技術の展示を行った。この中では、デジタル地球儀「触れる地球」の展示、および、日本政府が取り組む「グリーンアース50」、「グリー

していたサンヨーの「低自己放電ニッケル水素充電電池(エネルーブ)」などが紹介されていた。環境ショーケースは、日本政府が目指している経済発展と環境保全との両立に、期待を感じさせるものであった。

イロット(空調システム)の省エネ技術)、富士通の「対人センサー付ECC Oプラスモニター」(使用者が離れると自動的にPCCがOFFになる装置)及び、「間伐材を使用した木製PC」を紹介。これらの展示は、環境に関する最先端技術として関

値などの具体的合意がなかった」など批判も多い。福田首相が九日の議長会見で、「時にはお互いに激しくやりあうという場面も多々あった。しかしそのおかげで、多くの成果を生み出すことができたと思っている」と述べたが、先進国の首脳が温

暖化防止の認識が共有され、地球温暖化防止のプロセスが、確実に進むとした点は成果と言える。今後、温暖化防止のプロセスに必須となりつつある環境技術ビジネスが、日本の基幹産業となることを期待したい。(パブリック・ジャーナリスト 西原崇文)

IMCにて最新環境技術を紹介



省工

ママチャリで洞爺湖を目指す学生たちとのコラボ・キャンペーンやります！

● 2008年 06月 02日

アースデイ東京でユニークな学生さんと出会いました。

洞爺湖サミットに若者の声を届けようと、なんとママチャリで1300キロを旅する学生たち。自転車で洞爺湖を目指す仲間として意気投合し、この間話し合いを積み重ねてツーリング洞爺湖とコラボ企画することになりました。

今日はその詰めの打ち合わせを開催。



彼らは過去、東京～愛知、愛知～沖縄、そして四国一周のママチャリツアーを敢行。四国ツアーの詳細は以下のブログに掲載されているのでぜひご覧ください。

<http://greenz.jp/blog/mamachari/>



今回は洞爺湖サミットに合わせ環境問題をアピールしようと、ツーリング洞爺湖に先立ち6月8日に国会前をスタート。

勿論全行程をママチャリで走ります。テントや鍋を積み込み、キャンプしたりネットカフェに宿泊しながら北上するそうです。

ツーリング洞爺湖は、彼らに遅れること約2週間弱、6月19日に国会前をスタートして彼らを追いかけるように北上。

そしてサミット開催前日の7月6日(日)、ママチャリの学生と札幌市内で合流し、自転車乗りが一堂に会してキャンペーンすることになりました。

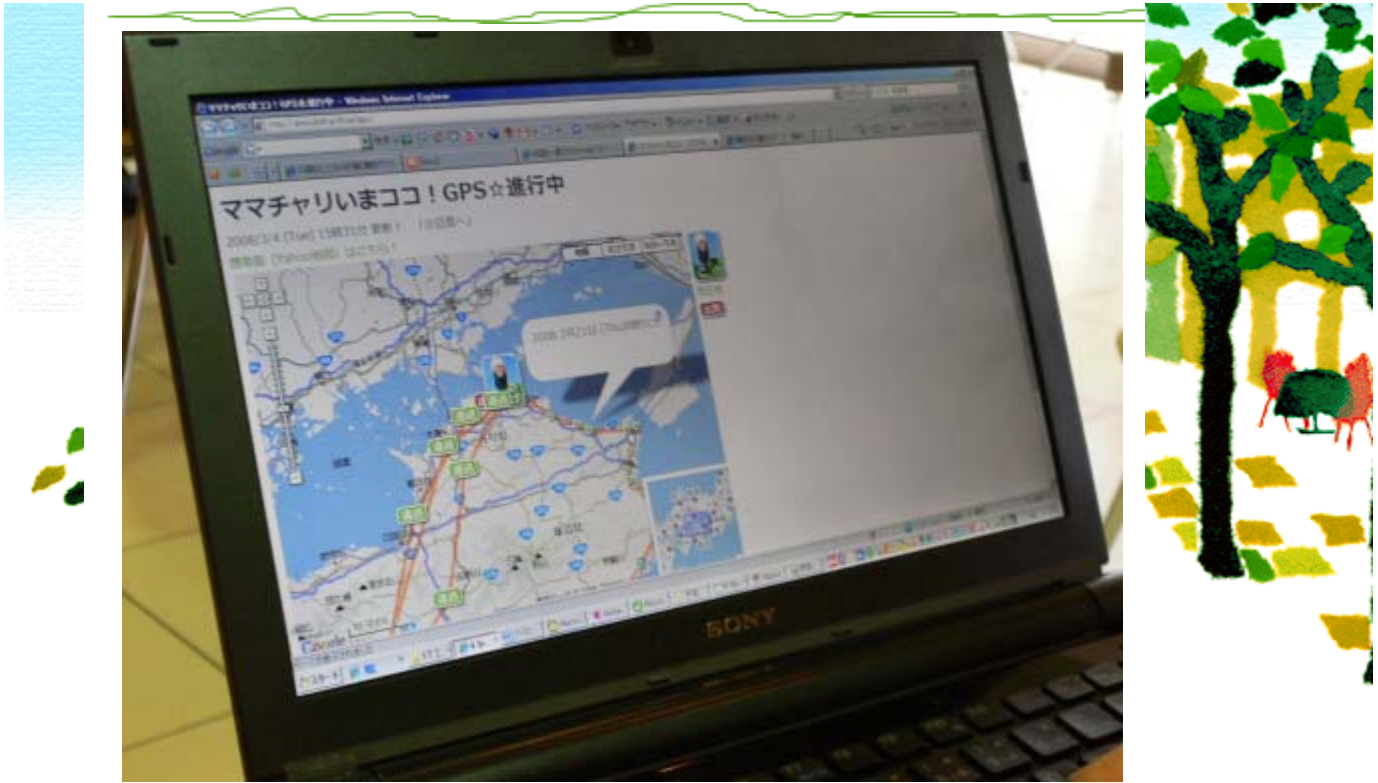
ママチャリ・ツアーのリーダー矢部さんは、難しい理屈抜きとにかく多くの人に環境問題を考えてもらえるきっかけをつくりたいと抱負を語ってくれました。

さてコラボ企画の目玉は、7月6日の大合流へ向けて、ママチャリ・ツアーやツーリング洞爺湖、はたまた同じように洞爺湖を目指すヒッチハイカーなどの現在位置をリアルタイムで地図上に表示するキャンペーン。



携帯のGPS機能を使い、携帯から位置情報を送信して地図表示するソフトを開発してくれるのは石川さん。

アイコンをクリックすると、その位置周辺で書き込まれたママチャリツアーやツーリング洞爺湖のブログ記事へジャンプする機能も搭載予定です。



ママチャリやツーリング洞爺湖だけでなく、色んな人たちがあちこちから洞爺湖を目指す動きが表現できたら素晴らしいですね！

ぜひこのキャンペーンに参加希望の方は、ママチャリ・ツアーなりツーリング洞爺湖までご連絡ください。

GPS機能付き携帯があれば参加可能です。

自転車や旅が大好きで、環境のことを考える人ができるだけ沢山集まれば、サミットに向けて少しはアピールできるかもしれません。

7月6日のイベントの詳細は間もなく決まりますが、海外メディアなどにも広くアピールする予定。

世界が注目する洞爺湖サミット。7月のこの時期、北海道の気候はツーリングに最適のはず。

札幌市内で自転車をレンタルして合流しても大丈夫。とにかく楽しくのんびりと自転車で走り、環境問題をアピールしましょう！

by tourtoyako2008 | [2008-06-02 22:48](#) | [インフォメーション](#) | [Trackback](#) | [Comments\(0\)](#)